

星稜 サ・エ・ラ

seiryô çà et là 2019 No.52

inaokigakuen news letter



新年号と共に
一人ひとりの未来へ
稲置学園各設置校で学位記授与式・
卒業式・卒園式が執り行われました。

巻頭

2019年度 新年度あいさつ

特集

高校野球選抜甲子園

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

Amitié Seiryô ～星稜の友～

総合研究所・地域連携センターだより

星稜Information / 星稜Pick up

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中！

詳しくはP14をご覧ください

新年度あいさつ

理事長として4年目を迎え、学生や生徒、保護者や卒業生、地域の方々から寄せられる期待に応え、建学の精神である「誠実にして社会に役立つ人間の育成」ができる「北陸を代表する総合学園」の実現が責務であると、あらためて実感しております。

教育・研究の充実の点では、2019年度にはいくつもの節目を迎えます。主だったものでは、大学は人文学部国際文化学科の完成年度を迎え、中高一貫理数コースは3年目の折り返しの年となり、中学校は3クラス制に移行します。法人の福利厚生の一として、企業主導型保育事業「星稜こども園」を開設します。これらの節目に成果を出し、次代に繋げていく必要があります。

星稜100年ビジョンの宣言から7年目を迎えます。

これまでの取り組みを自己点検・自己評価し、あらためて星稜100年ビジョンの実現に向けた舵取りを、強い決意をもって臨む所存です。そのためには、理事会のガバナンス機能の強化や、教育の仕組みや組織の改善を図り、時代の変化に対応する星稜の人間教育を実現します。

星稜100年ビジョンの実現には、理事会と教職員の「努力」と「行動」が原動力となるため、役員、教職員が目的意識や情報を共有し、各々の立場で能力を発揮することが重要です。多くの課題にも、「自分で必要なことを学び、考え、行動に移していく」「積極性」と「変える勇氣、変わる勇氣」を持ち、慣例を言い訳にしない職員・組織となることを目指します。



学校法人稲置学園 理事長 稲置 慎也

金沢星稜大学



金沢星稜大学 学長
金沢星稜大学女子短期大学部 学長
篠崎 尚夫

2019年、星稜大では、「Visionary Univ. Kanazawa Seiryō」夢のある大学」として、Passion（情熱）とMission（建学の精神）の相互作用・好循環のもと、誰もが、毎日を一所懸命に送っていきます。

そこから、（これ迄の）自分を超えるVision（展望）というものが、個々に開けてきます。「展望が開けるといふことは、いわば「夢のある状況」といえます。学生だけではなく、すべての「星稜大に生きたる人間」（学生・教職員・事務職員）、「すなわち、「大学そのもの」が「夢のある大学」となる、そういう事を意味します。

「星稜大に生きたる人間」の誰もが、「研究」（自ら調べ、考えることを繰り返す）に裏打ちされた「教育」（相互に、知識、能力を引き出し合う）、これに「夢中」となりましょう。

この「夢中」（夢のある状況）を、大学を起点に展開させていくのです（学園、地元、近隣...、そして海を越え...）。

金沢星稜大学女子短期大学部

2019年も、星短生は「明るく、楽しく、元気よく、そして強かに」努力し、夢を力に、二年で四年を超え、「明日輝く、女性になる」ことを目指して行きます。

この「思い」を胸に、何事にも臆せず、怯まず、「威風堂々」、進んで行きます。大丈夫です、私達には「星短の魅力」が備わっています。いつでも、どこでも、誰でも「星短スマイル！スマイル！スマイル！」。やはり、これです。

私達の周りには常にこの「星短スマイル」が満ちています。学業においても、就職活動においても、星短ライフ全般、その後の進路先においても.....

「明るく、楽しく、元気よく、そして強かに」、何事にも対応できる女性、それが星短の「明日輝く、女性」というものです。

星短はこれまで通り、そういう女性を次々に送り出して行きます。星短の使命、最高の地域貢献と考えています。



高 生涯キャリア・ポートフォリオ



短大 短期リア合宿



大学 文芸部 文学報告会



星稜高等学校 校長
星稜中学校 校長
鍋谷 正二

星稜中学校・高等学校は、世界で活躍する個性豊かな星稜生に成長することをイメージして「GROW! SEIRYO」をスローガンとしました。生徒一人ひとりの個性を育み、文武両道の志を支える地域有数の進学校として、世界を意識した広い視野で行動できる人間の育成を目指します。そこでGROW! SEIRYO PROJECTとして「德育」人間力向上、「知育」学力向上、「体育」競技力向上としてのプログラムを検討実施します。これらを考える土台として、社会に役立つ人間に必要なことは何か？世界に通用するために必要なことは何か？人間力とは何か？魅力ある人、徳のある人、誠実とは？を常に考え学ぶことを大切に、その上で学力向上・競技力向上としての進路研究・学習支援・高大連携といった様々なことに挑戦します。

その先駆けとして、本年度より土曜スクール「GROW! SEIRYO PROGRAMS」GSPを開講します。新しい時代に対応していくために必要な知識や能力を身につけ、思考力や表現力、多様性等を育成します。また、3年目となった中高一貫コースは中学3学年が集うこととなり、より活発な活動を展開いたします。全教職員の協力の下、キャリアプログラム・グローバルプログラム・サイエンスプログラムのより一層の充実を図ります。

本校の校歌にある「道の誇りの塔建てむ」のごとく、生徒一人ひとりが、それぞれに輝き、活躍できることを願い、日々新たに教育活動を実践し、中高一貫6年完成年度・高校60周年・学園90周年としての2022年に向けた、生徒・教職員・保護者・卒業生が一体となった「チーム星稜」を目指します。



星稜幼稚園 園長
島田 裕香子

2019年、幼児教育の重要性を国が認め「幼児教育無償化」が始まります。さらに金沢市も「こども未来部」を新設し、子どもに関わる施策を総合的に推進するということです。世界各国が幼児教育に投資している中、いよいよ日本も！と期待が高まります。

おかげさまで、星稜幼稚園は、地域保護者の温かい応援や協力により、幼保連携型認定こども園として広く認知していただき、入園希望が増えております。期待に応えるべく今年度より定員を増やし、さらに0、1、2歳児の保育施設「星稜こども園」も4月に新規開園します。星稜幼稚園・星稜こども園共に、これまで同様につれない本物の教育・保育を推進し、AI時代、激変する社会・予測できない社会の到来に対応できる「非認知能力」を子どもの自発的な活動である遊びを通して総合的に積み重ねて育んでいきます。

さらに子どもたちにとって大切にされたと記憶に残る園になり、「あなたは大切な存在だ」と感じられ、人生を支える大きな見えない柱となるよう心をこめて保育していきます。

これからも地域に愛され、北陸No.1の教育・保育の提供を目指し、乳幼児教育施設の名門となるよう取り組んでいきます。



星稜泉野幼稚園 園長
西村 敬子

平成の時代が終わり、新しい時代を迎えようとしています。幼児教育もAI時代に向けて非認知的スキルと認知的スキルを合わせ持った幼児教育の重要性が語られています。

星稜泉野幼稚園では「子どもの主体的な遊びを通して育つ子ども」を目標とした教育・保育を行っています。非認知的スキルの一つとして、年長組を対象に金沢の伝統文化である茶道や和太鼓、将棋などの体験を取り入れています。また、認知的スキルとして、年長組の主体的活動の中で新聞記事を活用した取り組みも行っています。今では新聞を通して身近なことや文字にも興味や関心を持つようになりました。みんなで考えたり、意見を言ったりと進めていくうちに新聞作りへと発展しています。

2020年度に学校教育法の一部が改正され、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が行われます。今後小学校とのスムーズな接続を考える上で、当幼稚園が目標としている主体的な遊びや活動は、小学校での学びの基礎になると確信しています。

2019年度もこれらの活動を継続し、質の高い教育を提供する幼稚園として地域No.1を目指していきます。





～成長の春。夏にリベンジ～



出発式

3月19日(火)、「全国制覇」のプレートを前に、監督・部長・顧問・全部員であいさつを敢行。その後、各ポジションにつき、願いや誓いを込めてお神酒をグラウンドに捧げ、心を清めました。
午前8時前からグラウンドに駆け付けた保護者や学園関係者、報道陣に見送られ、ナインは笑顔で甲子園へと出発しました。

開会式

3月23日(土)、平成の選抜名試合で使われた「どんなときも」「世界に一つだけの花」の演奏と共に平成最後の選抜高校野球大会が幕を開けました。

「星稜高校」の校名がアナウンスされると、ひと際大きな拍手がスタンドから送られました。腕を大きく振り、腿を高くあげ、ハッツと行進する星稜ナインからは、紫紺の大優勝旗を手にする希望と、これまでの練習で自然と身についた自信が感じられました。

1回戦

開幕日の第3試合。強豪ひしめく大阪の名門・履正社高校と対戦し勝利を収めました。

投げては、今秋ドラフト候補のエース奥川恭伸投手(3年)が17奪三振と庄巻のピッチングを繰り広げました。初球からの全力投球148キロにスタンド中がどよめきと歓声に包まれました。

打つても、2番・有松和輝左翼手(3年)が初回到レフト前9回に左中間を破る決勝適時三塁打を、3番の知田爽汰三塁手(2年)が初回と7回にヒットを放ち、星稜ファンのボルテージは最高潮に。

1番・東海林航介中堅手(3年)は、9回表1アウトで打席に立ち、代わった2番手ピッチャーの初球をレフト前に運び、2番・有松左翼手が左中間を破る適時三塁打を放った間に、快足を飛ばし、爽やかな笑顔でホームベースを踏みました。「リードオフマンである東海林選手が出塁して得点する」という昨夏から続く勝利の方程式を証明してくれました。

5番捕手・山瀬慎之介主将(3年)は、昨秋手を痛めて思うようにプレーできない時期もありましたが、故障中の悔しさが大



第91回センバツ高校野球大会



きなエネルギーとなったように、この日は4打席で外野に3本のヒットを放ち、初回に先制点をもぎ取る一打を放つ大活躍をしました。

味方のエラーを想定した山瀬捕手のカバーリングの早さはこの日も光り、最小限の傷で抑える場面が印象的でした。

そのほか、星稜の強さを見せてくれた選手が4番の内山壮真遊撃手(2年)です。際どい球を平然と見送って四球を選び、確実に塁に出るというチーム1の選球眼の良さを発揮してくれました。その立ち居振る舞いからは、小学生時代に県大会を4度制覇した空手で培った精神力の強さが溢れていました。

2回戦

相手は、美爆音を甲子園に響かせることで有名な千葉県の習志野高校。2回裏、先頭の5番山瀬捕手が中前安打を放って出塁すると、続く6番奥川投手が絶妙なバントで送り、2アウト3塁で迎えたバッターは1回戦でファースト強襲の痛烈な内野安打を放った8番岡田大響右翼手(3年)。1回戦の子兆そのままに、引き付けて打った力強い打球はショートの横を通り抜け、先制点をもぎ取る一打となりました。

その後、代わった相手エースの速球に打ちあぐねていた星稜ナインですが、ラッキーセブンの7回裏、7番福本陽生一塁手(3年)が左翼手の頭を越す会心の一打を放ち、同点のランナーとして出塁しました。相手エースの力投を前に、好機をものにするとはかきませんでしたが、流れを引き寄せる大きな一打でした。

また、守りでは、山本伊織二塁手(3年)が軽快なフットワークで確実にアウトを取り、守備でチームを盛り立てました。

選手間で交わされた「声」、1・3塁の各ランナーコーチや「日本一のベンチ」を目標している寺沢孝多投手(3年)が筆頭となったベンチメンバーから、グラウンドでプレーする選手へかけられた「声」の一言一言がいかに大きな役割を果たしていたのかが再認識された試合となりました。

技術はもちろんですが、「声」という星稜の強さをさらにパワーアップさせ、新元号「令和」最初の夏に、3代目深紅の大優勝旗を石川県へ持ち帰ってきてくれることを期待します。

頑張れ！星稜ナイン★

文責：川本真夢



星稜幼稚園
藤田 真生 先生

保育園時代の憧れを叶え 子どもたちに 寄り添う保育を実践。

私が子どもたちと関わる仕事がしたいと思ったのは、自分の保育園時代にさかのぼります。年長クラスの時の担任の先生がとても優しい方で、幼い私たちの思いを尊重して意欲を引き出すように接してくれたので、子どもながらに「先生ってすごいな」と思いました。その憧れの気持ちを持ったまま、大学で保育を学び、2018年4月より星稜幼稚園で働いています。

学生時代に複数の園を訪問する機会があったのですが、星稜幼稚園の先生方の子どもたちに対する接し方には引き込まれました。特に直してほしい、やめてほしい場面。単に厳しく言うのではなく、なぜいけないのかを伝えて理解させるというスタンスです。その前提として、乳幼児

教育の専門家としてのスキルの大切さを実感しました。

子どもたちと一緒に 思い切り体を 動かして遊びたい。

わかば組（二歳児クラス）の担任になり、もうすぐ一年が経ちます。わかば組では育児担当制をとっていて、食事や着替えなどはいつも決

できることをどんどん増やしていく子どもたち。
その姿を見ることがやりがいです。



まった保育教諭が担当することで離乳食の進み具合、トイレトレーニングなどスムーズにできます。私たちが「お母さん、お父さんに代わる人」になることで、子どもたちは園での時間を安定して過ごすことができるんです。

自分で歩いて、行動範囲が広がる一歳児。入園間もない頃はお母さんと離れたくないと泣いていた子もすっかり園に慣れ、月齢にもよりますが、スプーンで食べ物を上手にすくうようになり、自分でトイレに座れるようになったりと、成長した姿が見られます。一方で、自分の気持ちを表現したいけど、言葉はなかなか出てこない時期でもあります。子どもたちが表情や行動で表した気持ちをしっかりと受け止め、応えていきたいと思っています。

私自身の一年目の成長はというと、毎日夢中で過ごしながらも、経験豊富な先輩方の姿を見ながらいろいろなことを吸収してきました。子どもたちの笑

顔を見て、そして子どもたちがどんどんできることを増やしていく様子を見て、やりがいや喜びを感じています。

子どもたちには、周囲に対して思いやりを持ち、主体的にさまざまなことに挑戦できる子になってほしいと思っています。その点では、星稜幼稚園には子どもが遊びたくなる素材や遊具があり、主体的な活動が思う存分できる環境があります。

2019年4月からは三歳児クラスの担任になります。子どもたちは運動量も言葉も増える時期です。私は星稜高校出身なのですが、当時創設された女子サッカー部に所属していました。今でもたまにピッチに立つことがあります。子どもたちとサッカーをするなど、一緒に思い切り体を動かして遊ぶのが楽しみです。



★ トランポリン部 堺選手 W杯で2大会連続 金

2月16日(土)から行われたトランポリンのW杯アゼルバイジャン・バクー大会のシンクロ部門に、人間科学部スポーツ学科3年次の堺亮介さんが昨年と同じパートナーと出場し、2大会連続優勝を果たしました。

【堺亮介選手コメント】

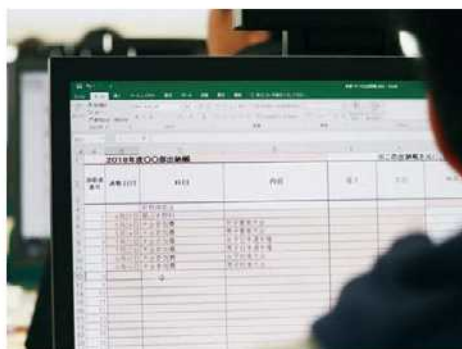
今大会では、ライバル国であるロシアやベラルーシのベスト演技を上回る納得のいく演技を繰り上げることができ、大きな喜びを感じることができました。20秒という限られたトランポリンの競技時間に、これまでの数か月間、数年間をかけて積み上げてきたものを出し切ることの楽しさを改めて味わうことができました。

東京五輪2020出場枠をかけた世界選手権、W杯がいよいよ始まります。他の選手以上に強い思いをもって、一つひとつの戦いに挑みたいと思います。また、上のランクにいる選手たちを脅かすような存在になることを目指し、今後の大会をしっかりと戦い切ります。



★ サークルリーダー研修会開催

2月25日(月)、星稜フォーラムで「サークルリーダー研修会」が行われました。研修会には文化系・体育系それぞれの次期代表学生が集まり、新学友会役員の紹介、学園祭協力の呼びかけ、会計決算の入力や翌年度申請に関わる手続きの説明が行われるなど、活動をより活性化させるための意見が交わされました。また外部講師をお招きし、SNSの正しい利用方法について改めて学ぶなど、実りある研修会となりました。



短 2018年度最後のSei-Tan Act 「マナーコンテスト」を開催

2月20日(水)、キャリアデザイン館4階の学生ホールで学友会執行部新役員主催の「マナーコンテスト」が行われました。コンテストには3人1組の3チーム「横野ゼミ」、「学友会」、「魅力(イチミリ)」が出場し、お茶出しや名刺交換、窓口応対などビジネスシーンを想定したロールプレイングを行い、社会人基礎力としての対人対応力やコミュニケーション力を鍛えました。また、審査員・特別出演者として短大教職員も参加し、一つの課題が終わるごとに講評し、より良い心構え・マナーを全員で学びました。ロールプレイングを重ねるにつれ、緊張した面持ちだった参加者の表情が和やかになっていき、学生各々に「明日、輝く女性になる」意識が芽生えたようでした。結果は、来客に寄り添い、笑顔で明るく振舞った「横野ゼミ」が優勝しました！



★ 高 満喫！修学旅行

12月3日(月)～7日(金) 1年Pコースが、また1年A・Bコースが12月4日(火)～7日(金)の日程で、それぞれのコースに分かれて修学旅行へ行きました。グループごとに、訪れる予定の土地や場所について事前学習をし、調べた情報をもとに見聞を広め、実際の体験を通して友人们とそれぞれの思い出を共有しました。

各コースの主な行き先は、次のとおりです。

Aコース 関東

Aコースは関東方面に行ってきました。国会議事堂見学からはじまり、東京スカイツリーや浅草寺周辺の散策、東京大学では本校卒業生の案内のもと校舎見学をし、企業での研修にも参加しました。東京デイズニースー、鎌倉大仏見学、鶴岡八幡宮など文化方面のみならず、進路を見据え、さまざまな場所を訪れました。

Bコース 九州

偶数クラスと奇数クラスに分かれ、それぞれ逆の旅程で回りました。九州では太宰府天満宮や、長崎での自主プラン、原爆資料館にハウスステンボスなど、また山口では秋芳洞を訪れました。福岡での自主プランでは柳川下りやキューピー、ほかに三菱重工業、ヤクルト工場、シャボン玉石けん工場などの企業訪問を行いました。長崎チトセピアホールでは、被爆体験のある方からの講演があり、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

Pコース 沖縄

美ら海水族館からはじまり、マングローブ地帯をカヌーから観察し、バナナボートやカヤック、シュノーケリングにも挑戦しました。体験王国むら咲むらでは、沖縄伝統のお菓子作りや焼き物などの体験もしました。また、おきなわワールド、ひめゆりの塔の見学や、首里城公園の散策などで実際に見聞きたことに、生徒たちは深く思いを馳せていました。



★ スキー・スノーボード実習

2月13日(水)～15日(金)、2年生Pコースが長野県の梅池高原でスキー・スノーボード実習を行いました。最近では、スノーボードよりスキーの経験者の方が少ないということもあり、生徒たちはスキーに興味津々で、果敢に挑戦していました。またそば打ちの体験なども行い、仲間との親睦も深まり充実した3日間となりました。



★ 講演会

2月16日(土)、1年生を対象に講演会を行いました。講師に、本校の卒業生で優勝経験のある、パティシエの加藤大地氏をお招きし、渡仏した経験等を交えながら「やる気スイッチのつけ方」というテーマで講演していただきました。「いろいろな場面での経験や出会い、考え方が自分を成長させるスイッチになる。今を大切にしたい」というメッセージが印象的でした。

★ 「雪かきボランティア協定」締結式

12月19日(水)、本校生徒会と金沢市および小坂町校下連合会の三者による「雪かきボランティア協定」の締結式が行われました。降雪時に地域からの要望に応じて、本校生徒が雪かきボランティア活動を行うというものです。縮結式で生徒会長の吉本有佑くんが、「地域のお役に立てるように頑張りたい。」と決意を述べました。



★ 中 講演会

12月15日(土)、講演会を行いました。歌手、コメンテーター、ホストマザーとしてご活躍されている、玉城ちはる氏をお招きし、「命の参観日」と題してのお話を聞きました。優しく心にしみわたる素敵な歌や、「やさしさ貯金ゲーム」など皆で楽しみながら、「人は価値観が違うからこそ、言葉にすることが大切であること」「自分から動き出せる人になってほしい」とのお言葉を頂きました。



★ 合唱コンクール

12月21日(金)、稲置記念館講堂において第18回合唱コンクールを行いました。各クラス、この日のために数カ月かけて一生懸命練習をしてきた、課題曲の「ありがとう」と、自分達で選曲した自由曲の2曲を披露しました。どのクラスも思いのこもった素晴らしい歌声でしたが、金賞は圧倒的な声量で会場を包み込んだ3Bが受賞しました。

- 金賞 3年Bホーム
「なんでもないや」
- 銀賞 3年Aホーム
「アイネクライネ」
- 銅賞 2年Aホーム
「瞳」

- 2年Bホーム
「福笑い」
- 1年Bホーム
「明日はきっといい日になる」
- 1年Aホーム
「HANABARI」

◎客演：高校合唱部による女性三部合唱
大竹宏氏(前中学高等学校音楽科教師)
による「ラン・ベットのミニリサイタル」



★ 総合学習 発表会

2月16日(土)、第17回総合学習発表会を行いました。前半の部では1年生による「サイエンスプログラム」、後半の部では2年生による「キャリアプログラム」の発表が行われ、1年生、2年生がそれぞれのグループごとに決定したテーマについて、4月から研究を重ねてきた成果を披露しました。1年生は「液体による表面張力の違いを調べる」、2年生は「紳士の国イギリスと白洲次郎」のテーマが金賞を受賞しました。



★ 中 スキー教室

2月21日(木)、一里野温泉スキー場において、スキー教室を行いました。午前中はレベル別のグループに分かれ、インストラクターの方々による指導を受け、午後は各自思い思いに自由滑降を楽しみました。あいにくの雨模様で天気でしたが、技術の上達を実感し、滑る楽しさがわかってくると生き生きと滑っている様子が見られ、雪国ならではの経験ができた一日となりました。



★ 中高 12月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

平成30年度石川県高等学校総合体育大会

- ・総合優秀校
- ・男子最優秀校
- ・女子優秀校

第3回アジアユース陸上競技選手権

- ・女子棒高跳 第3位 藤家 麻鈴

第43回全日本競歩能美大会

- ・高校生男子10km競歩 第27位 関 涉吾
- ・高校生女子5km競歩 第6位 竹川 玲奈
- ・高校生女子5km競歩 第14位 出嶋 彩佳奈

第39回全国高等学校ゴルフ選手権春季大会中部地区予選

- ・男子の部 第14位 辻 圭一郎(全国大会出場へ)

平成30年度北信越高等学校剣道新人大会

- ・女子団体 第3位

第55回石川県高等学校スキー選手権大会

- ・男子大回転 第1位 山口 豪太(全国大会出場へ)
- ・男子回転 第1位 山口 豪太(全国大会出場へ)
- ・男子アルペン総合 第2位
- ・男子総合 第2位
- ・女子大回転 第1位 河端 里緒(全国大会出場へ)
- ・女子大回転 第3位 田中 凜(全国大会出場へ)

- ・女子回転 第1位 田中 凜(全国大会出場へ)
- ・女子回転 第2位 河端 里緒(全国大会出場へ)

- ・女子アルペン総合 第1位
- ・女子総合 第1位

第27回松本旗争奪石川県高等学校剣道選抜大会

- ・女子団体 第2位

第34回石川県高等学校弓道如月大会

- ・団体女子の部 第3位

第53回石川県アンサンブルコンテスト

- ・クラリネット5重奏A 銀賞
- ・クラリネット5重奏B 銀賞
- ・フルート3重奏 銅賞

第31回石川県高等学校ヴォーカルアンサンブルコンテスト

- ・合唱部門 銀賞 B-1
- ・重唱部門 金賞 A-3
- ・重唱部門 銀賞 A-1

【星稜中学校】

石川県中学校体育大会

第68回石川県中学校スキー大会

- ・男子大回転 第7位 中野 光士郎

金沢市中学校スキー競技大会

男子アルペン競技

- ・ジャイアントスラローム 第2位 中野 光士郎
- ・アルペン競技総合 第3位



☆ママのパン教室☆

バレンタインデーを前に『ママのパン教室』を開催しました。新出製パン所オーナーシェフの新出純一さんを講師にお招きし、食事パンやバレンタインデーにちなんだパン作りを教わりました。

あらかじめ発酵させたパン生地にも新出食パン特製のチョコや餡を詰めて丸めたり、ウインナーにパン生地を巻きつけるなど、プロ直伝の成形方法を教わりました。やわらかいパン生地を成形するのは思いのほか難しく、そのコツを



つかむことでママ同士の会話も弾んでいきました。和気あいあいとした雰囲気の中、パンを二次発酵させオーブンへ。焼き時間の経過とともにパンの香りが調理室いっぱいになり、美味しそうな焼き色がついたパンが完成！出来映えに歓声が上がリ、力作を見せ合ったり、写真を撮ったりした後、焼ききたてパンとコーヒーをいただきながら、話題は更なる創作意欲へと盛り上がり、ママ同士の親睦も一層深まっていきました。

☆ナースリールーム☆

1歳児は、プレイルームでウレタン積木を自分たちの背丈くらいまで積み上げ、いつもより少し高い世界を楽しんでます。また、巧技台に設定した傾斜のあるはしを四つん這いになって進み、巧技台にたどり着くと嬉しそうに拍手したり「おーい！」とアピールしたりします。0歳児は、タイミングを見て手を離し、一人で立ったりする姿も見られます。1歳児の様子を見て、少し難しいことにも挑戦しようとしていました。



☆おいしくなあれ 味噌作り☆

東山にある高木麹商店さんで、年中児が味噌作りを体験しました。お店に入ると大豆の煮えた良い匂いがして、思わず「おいしそう！お豆食べたーい！」と大豆の湯気に顔を近づけていました。3時間かけてぶつくと茹で上がった大豆を、戦後から使用している機械に入れてすりつぶし、その中に塩、水、麹を足して混ぜ合わせます。「あったかいね」と言いながら、お味噌の感触を両手で感じていました。作ったお味噌は6ヵ月後に給食のお味噌汁などで味わいます。味噌作りを通して金沢の食文化に触れることが出来ました。



☆親子思い出遠足☆

この日をずっと前からとても楽しみにしていた年長児。クロスワードパズルを1週間に1問ずつ解きながら、親子遠足の行き先が小松市のカブッキーランドだということを知りました。友だちやおうちのひとと一緒に景色を見ながら電車の旅を楽しみました。カブッキーランドでは、カブッキーのお出迎えに思わずびくつき。カブッキーはみんなの人気者でした。さまざまな遊具に時間を忘れて遊び、手作りのお弁当からだも心も大満足の一日でした。きっと大切な思い出の一つになったことでしょう。



園 幼 児 泉 野 ☆ 泉 野 こ ども 新 聞 ☆

年長児の活動の中に朝の集いがあります。集いでは新聞記事を使って、みんなで話し合いをしてきました。最初のころは、子ども達が興味を持ちそうな記事を担任が「今日、こんな記事が載っていたよ」と子ども達と一緒に読み、その中で自分の思ったことや考えたことなどをいろいろ話し合ってきました。そのうち、新聞に興味を持った子ども達が家から新聞記事を持ってくるようになりまし。そして、自分たちで簡単な記事（伝えたいことや面白いなと思ったこと）を書き始めました。内容は「今日お店屋さんをしますから来てください。」「○○くんが、新幹線で〇〇県に引っ越しします。」など、記事というより手紙のようなものですが、タイトルやイラストを描くなどいろいろな工夫がみられるようになってきました。



☆ ありがとう !! ☆

もうすぐ卒園。そんな年長児のお兄さん、お姉さんに日頃の「ありがとう」を込めて、年長組を送る会が開かれました。それぞれの学年か



☆ お茶会 ☆

年長児が1年間、取り組んできた茶道。2月にお母さんをお招きしてお茶会を開きました。子ども達が作ったお茶菓子とお抹茶でおもてなしをしました。可愛らしいリンゴの形をしたお菓子は和菓子屋さんに習って子ども達が作りました。子ども達が点てたお抹茶とお菓子をお母さんたちは嬉しそうにいただきました。最後に裏千家家元千宗室様からのおしるし(証書)を裏千家師範、加納宗聡先生からいただきました。神妙な面持ちで受け取っている子ども達の様子を微笑ましく見守っていたお母さんたちでした。



ら想いのこもったプレゼントがあり、いちご組からは会場の飾り。先生たちからはコミカルな白雪姫の劇。年中児からは、温かい歌と合奏。年少児からはメダルと写真たてが送られ、心のこもったプレゼントに嬉しそうな年長児でした。4月からは小学生。頑張れ！1年生！！



北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



松任エリア 松任支店 法人RM
(現 東京支店)

大谷 里彩
(星稜高等学校 第48期卒)

「一人前の行員としてのこれから」

北國銀行に入行し4年目を迎えます。星稜高等学校を卒業後、早くも7年が経ちました。月日が過ぎるのはあっという間だと改めて感じています。入行以降、支店に勤務し、個人営業を経て、法人営業担当として現在は働いています。

この3年間を振り返ると、新入行員時代は右も左も分からず、目の前の業務をこなすことに精一杯でした。先輩や上司の方から指示されたことをやる、「受け身」でしか仕事を出来ていなかったように思います。2・3年目に入ると、ある程度の業務をこなせるようになり、自分自身で考え、行動する

いう「能動的」な姿勢で仕事が出来る場面も多くなりました。そして、後輩もでき、教わる立場から教える立場へと変化し、責任感も抱くようになりました。もちろん、日々の業務の中でミスや失敗をすることもありますが、その度に周りの方々に助けて頂きました。本当に感謝しています。

今年度からは社会人4年目となります。属に言う一人前の社会人です。3年間で経験したことを活かし、さらにステップアップ出来るような社会人生活を送れば、と思います。また、今までは自分の業務で精一杯でしたが、今後はステップアップのためにも支店・銀行全体をみて自分がどんな役割を担い、どう行動すれば良いかを意識して過ごしたいと思っています。改めて北國銀行の企業理念である「豊かな明日へ、信頼の架け橋を」ふれあいの輪を拡げ、地域と共に豊かな未来を築きます」という言葉を考え直し、北國銀行と自分の関係性を意識しながら働きたいと思っています。

学生の皆様におかれましては、勉学・部活など様々な分野で頑張っていることと思います。ぜひ、何事においても「受け身」ではなく「能動的」に、自分から率先して行動するという意識を持ちながら過ごして頂きたいと思っています。最後になりますが、皆様の今後のご活躍とご健勝を祈念致しまして結びの挨拶とさせていただきます。



一緒に守りたい、今日があります。
ともに創りたい、未来があります。

ふるさとの今日を、明日につないでいく。
地域のみなさと、未来をひらいていく。
ふるさとに暮らす人々が、
今日も、明日も笑顔で過ごすことができるように。
北國銀行は、これまでもこれからも
地域とともに歩む銀行であり続けます。

 北國銀行
<http://www.hokkokubank.co.jp>

総合研究所・ 地域連携センター だより



研究成果報告会

総合研究所

3月6日(水)、2018年度金沢星稜大学
総合研究所成果報告会が開催されました。

今年度採択された92件の個人研究、5件の共同研究
及び4件のプロジェクト研究所のうち、共同研究とプ
ロジェクト研究所、計9件の成果が報告されました。
発表後には活発な質疑応答が行われ、異なる分野の
研究員が発表・聴講することで、情報の収集や意見交
換、自身の研究の刺激となる良い機会となりました。

共同研究とは

他の学部又は異なる所属(学外の機関を含む)の研究
員と共同で実施する研究

プロジェクト研究所とは

地域社会における役割を果たすために、学部・学科及び大
学の枠を超えて研究グループを自己組織化して行う研究



2018年度SJP活動団体一覧

- ①交流・イベントプロジェクト connect
- ②STAR☆ACT
- ③Nature Adventure
- ④世界の教室から
- ⑤SCLP (Seiryō Cortyard Lunch Project)
- ⑥つながる図書館プロジェクト
- ⑦みーたす
- ⑧SDGs Global
Youth Innovators -Seiryō-



SEIRYO JUMP PROJECT 2018

学生が自分たちで企画・実践した様々なプロジェクトを通して経験し
たこと・学んだことを発表する場として、2月25日(月)、SEIRYO
JUMP PROJECT (SJP) 2018 成果報告会を開催しました。
今年度は8団体延べ189名の学生が「自分を超越する力をつける」をテー
マに活動を行いました。成果報告会では、各団体が1年間を通じた活動
内容や成果、課題や学び等を発表し、その後の質疑応答でも活発な意見
交換が行われ、新たな目標や自身の成長を感じることができました。

地域連携センター

地域連携活動報告会

地域社会との持続可能な連携(貢献)活動を推進するため、2月20日(水)、地域
連携センター設立以来初の「地域連携活動報告会」を開催しました。前半は大阪
大学招聘教授で地域活性学会副会長、地域再生担当内閣審議官等を歴任された御園慎一
郎氏を講師としてお迎えして基調講演を行い、後半は継続的に地域と連携して様々な活
動に取り組む各学部の教員が、活動成果の発表を行いました。

この報告会は、本学の地域連携貢献活動を学内はもとより、地域社会に積極的に情報
発信することにより、学内教職員、学生により一層の意識向上を図る契機となりました。



初!!男子学生のためのキャリアイベント

●ほし☆たび屋久島2019

大学・短大部で行っている独自の就職支援プログラム「ほし☆たび」。今年で10年目を迎えました。「ほし☆たび」とは、フェリーで行う就活対策研修。過去、北海道、沖縄、上海、ウラジオストクを訪れ、移動のフェリー内でグループディスカッションや面接対策など、近年の採用試験で行われる課題に取り組みます。

3月末、初の男子学生限定企画『ほし☆たび屋久島2019』を開催しました。

大阪からフェリーで鹿児島へ行き、知覧特攻平和会館で若くして戦死された特攻隊員のご遺徳を回顧。屋久島へ渡り、登山で樹齢7,200年の屋久杉を見るなどし、命の儚さと雄大さを感じ、学生生活や自分のこと、人生について深く考えることを今回の旅のミッションとしました。参加者全員で9時間に及ぶ登山を終えた学生たちの達成感に満ちた顔が印象的でした。



●MOONSHOT講座 for MEN

短大部はもちろん、大学では女子学生向けの就活講座が充実していますが、4月1日には株式会社マンダム様のご協力により、男子学生向けの“第0印象”攻略の男子就活応援セミナーを開催。就活における身だしなみの重要性や、第0印象を良くするためのポイント等について、レクチャーいただき、午後は就職支援会社の株式会社マイナビ様と株式会社文化放送キャリアパートナーズ様による本番さながらの集団面接練習を行いました。



2019年度のエクステンション講座ガイドが完成しました!

資格取得支援として開講し、毎年学生を中心に保護者や一般の方にも利用いただいているエクステンション講座。

2019年度は新たにWEB資格講座をラインナップし、ライブ講義には参加しにくい卒業生や保護者の方をはじめ、より多くの方に受講いただけるようになりました。スキルアップ、キャリアアップにぜひ活用ください。

●WEB資格講座をはじめました

受講開始から1年間、10,000円(税抜き・教材費別)で25種類の資格講座がPC、スマートフォン、タブレットで自由に受講できます。在学生、卒業生、在学生の保護者の方、学園教職員が対象となります。詳しくは、エクステンション講座ガイド2019をご覧ください。

●2019年度 新規開講講座

【総合旅行業務取扱管理者】

国内旅行業務取扱管理者試験に合格された方のステップアップとして開講します。

【実用ペン字講座】

近年、手書きの機会も減っていますが、手紙やはがき、履歴書などはまだまだペン字が中心となっています。講座を活用して、美しい字を書くコツを学びましょう。

【IT実践力講座】

実際の仕事では必須のPC活用力ですが、スマートフォンやタブレットの普及により、キーボード入力をはじめとしたビジネスに必要なIT知識や技術が十分でない方も増えてきています。PC利用に不安のある方や業務効率アップを目指す方にオススメです。



星 稜 INFORMATION

ご支援をいただいた皆様へ

本学園へご支援をいただいた多くの皆様からのご厚意に、心より感謝申し上げます。

本学園は、皆様からのご支援により支えられています。今後とも末永く、ご支援・ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

学校法人稲置学園 理事長 稲置 慎也

寄付者ご芳名 (2018年12月～2019年3月法人受付分、順不同・敬称略)

法人・団体

大阪管公学生服(株)
(株)山善
ケーブイシーオテック(株)
(医)克嘉会はせがわクリニック
(医)和平歯科医院
稲置学園同窓会
(株)テレビ金沢
(株)瀬戸造園
(株)学びスイッチ
(株)山岸製作所
(株)JTB 金沢支店
(株)明石スクールユニフォームカンパニー
(株)星稜プラザ
(株)オートモ
北陸交通(株)
金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園保護者会

(株)北陸銀行
(株)浅沼組 名古屋支店
金沢信用金庫
東武トップツアーズ(株)金沢支店
㈱橋本写真館

個人(同窓生、保護者、一般)

沖野 万一郎 中村 直人 坂江 生辰
岡村 泰史 安原 麻由 丸岡 達也
稲置 慎也 吉田 克也 高畠 樹
山田 吉実 金谷 俊介 阿蘇 倣司
多賀 直昭 坂野 光俊 泉 圭輔
山岸 善吾 宮口 和義 横井 敏弘
北村 哲 四柳 茂男 久保 伸一郎
小村 龍三 菊池 宏

その他(匿名希望・未記入ほか) 30件

ご芳名は、寄付申告書を提出された方のうち、公表について了承された方のみ掲載させていただいております。

稲置学園星稜基金 スポーツ・文化等課外活動支援の給付者

(2019年1月～3月)

大学 【団体】トランポリン部(男子)

【個人】トランポリン部: 安藤 諒、山田 大翔、宮野 冬馬、谷口 空、杉谷 櫻花

高校 【団体】男子ソフトボール部

【個人】スキー部: 河端 里緒、田中 凜、山口 豪太 ゴルフ部: 辻 圭一郎

星稜サ・エ・ラに関するアンケートへのご協力をお願い

締切5/31

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。
毎号の内容に関する皆様からのご意見を「Webアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方の中から、抽選で20名様にQUOカード(500円分)をプレゼント。右記QRコードから、アンケートへの回答をお願いいたします。



抽選で20名様に
QUOカードをプレゼント!

行事スケジュール (4月～6月)

金沢星稜大学

4	2日(火)	入学式
	3日(水)・4日(木)	新入生ガイダンス
	5日(金)・6日(土)	新入生宿泊研修
	8日(月)	新入生CDPコース別説明会
	9日(火)	授業開始
5	13日(土)	新入生歓迎祭
	27日(土)～5月5日(日)	GW休講期間
	6日(月)～	月曜通常講義日(こどもの日振替)
6	11日(土)・25日(土)	補講日
	8日(土)・22日(土)	補講日

金沢星稜大学女子短期大学部

4	2日(火)	入学式
	3日(水)～5日(金)	新入生ガイダンス
	8日(月)	新入生CDPコース別説明会
	9日(火)	授業開始
	20日(土)	新入生歓迎祭
5	27日(土)～5月5日(日)	GW休講期間
	6日(月)～	月曜通常講義日(こどもの日振替)
	11日(土)・25日(土)	補講日
6	8日(土)・22日(土)	補講日

星稜高等学校

4	3日(水)	1年 入学前オリエンテーション
	6日(土)	始業式、自転車安全教室(2・3年)
	8日(月)	入学式
	9日(火)	1年研修会
	16日(火)・18日(木)・19日(金)	内科検診
5	20日(土)	身体計測
	24日(水)	遠足
	13日(月)～16日(木)	中間試験
	16日(木)	総体・総文激励会
	18日(土)	PTA総会、保護者対象講演会
6	24日(金)	3年学級懇談会、1年Aコース懇談会
	25日(土)	避難訓練
	29日(土)	吹奏楽部定期演奏会
	4日(火)・5日(水)・6日(木)	歯科検診
	15日(土)	模擬投票(2年)
	29日(土)	1年保護者対象説明会

星稜中学校

4	8日(月)	入学式
	9日(火)～11日(木)	1年研修会
	10日(水)	交通安全教室
	20日(土)	身体計測、2年コース別説明会、3年進路説明会
	24日(水)	遠足
5	14日(火)・15日(水)	中間試験
	30日(木)	新体力テスト
	31日(金)・6月1日(土)	写生大会
6	7日(金)	学校説明会①
	14日(金)	授業参観、県体激励会
	29日(土)	学校説明会②

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

4	6日(土)	入園式
	8日(月)	始業式
	17日(水)	避難訓練
	18日(木)	プール開き
	22日(月)	年長茶道体験
5	26日(金)	誕生会参観
	7日(火)	こどもの日の集い
	8日(水)	内科健診
	13日(月)	年少親子バス遠足
	17日(金)	避難訓練
6	20日(月)	年長茶道体験
	24日(金)	誕生会参観
	5日(水)	歯科検診
	8日(土)	保育参観 保護者会総会
	17日(月)	年長SEIRYO フェスティバル
	28日(金)	誕生会参観

※星稜子育てステーションは0、1、2歳児コースで毎月開催しています

金沢星稜大学附属星稜泉幼稚園

4	6日(土)	入園式
	8日(月)	始業式
	19日(金)	避難訓練
	24日(水)	子育て広場 ひよこ
	25日(木)	誕生会参観 保育参加
5	26日(金)	子育て広場 ひまわり
	8日(水)・22日(水)	子育て広場 ひよこ
	9日(木)	保護者会総会
	14日(火)・28日(火)	レッツスポーツ(年長・年中)
	15日(水)	小児科健診
6	16日(木)・23日(木)	茶道(年長)
	17日(金)・31日(金)	子育て広場 ひまわり
	20日(月)	リトミック(年少)
	21日(火)	子育て広場 さくらんぼ
	24日(金)	年長学年懇談・参観
7	27日(月)	避難訓練
	29日(水)	小児科健診
	30日(木)	誕生会参観 保育参加
	3日(月)	リトミック(年少)
	4日(火)	親子バス遠足(年長)
8	5日(水)	歯科検診
	6日(木)	太鼓(年長)
	8日(土)	年長SEIRYO フェスティバル
	11日(火)	親子バス遠足(年中)
	12日(水)・26日(水)	子育て広場 ひよこ
9	13日(木)	茶道(年長)
	14日(金)・21日(金)・28日(金)	子育て広場 ひまわり
	18日(火)・25日(火)	レッツスポーツ(年長・年中)
	19日(水)	年中学年懇談・参観
	20日(木)	茶道(年長)
10	25日(火)	子育て広場 さくらんぼ
	27日(木)	誕生会参観 保育参加

あとがき

30年続いた平成の時代に幕を閉じ、新年号を迎えようとしています。そして季節も冬から春へと移り変わる時、進級、進学、新社会人がそれぞれの新しい一歩を踏み出そうとしています。新しい一歩というのは、期待が膨らむと同時に不安があるのも正直なところ。しかし、先月行われた卒園式で卒園生が小学校という新しい環境に飛び込んでいく中、不安を持ちながらも「大丈夫!!」という力強い言葉が返ってきたことに私自身、応援されたような気持ちでした。新しい一歩を踏み出す皆様、一緒に頑張っていきましょう。

金沢星稜大学附属星稜泉幼稚園 榎波可純

Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町10番地1
TEL076-253-3924(代表)
(大 学) <http://www.seiryu-u.ac.jp/u/>
(短大部) <http://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地
TEL076-252-2237(代表)
<http://www.seiryu-hs.jp>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町南27番地
TEL076-252-5057(代表)
<http://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
TEL076-244-5636(代表)
<http://kinder.seiryu.jp/izumino/>